

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：血液検査研究班 提出日：令和 3 年 8 月 13 日 報告者：蒲澤 康晃

行事種別	研究会	行事番号	210001341	
開催日	令和 3 年 7 月 17 日 (土)~7 月 30 日 (金)			
時間	開始	***	終了	***
場所	オンデマンド配信 (Web 録画)			
テーマ	形態から学ぶ急性骨髄性白血病 後編			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点 (レポート提出した日臨技技師会員のみ付与)			
司会	***			
講師	1. 「M1,M2,M4,M5 について」 2. 「反復性遺伝性変異を伴う AML について」 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 白木 涼			
内容	<p>講演 1 では形態や特殊染色の結果が似ている M1,M2,M4,M5 の鑑別ポイントの解説を行った。実症例の画像を用いて、同じ分類の症例でも細胞の見え方の違いを細かく、解説し、受講者には分かりやすかったと思う。</p> <p>実際の現場で遭遇した症例の写真を用いることで、普段参考にしているアトラスとは違った、より臨床での感覚で受講できたのではないかと思う。講演 2 では WHO 分類で定義されている反復性遺伝子変異の種類やその特徴を解説した。現在、白血病分類は形態的特徴から分類する FAB 分類から染色体・遺伝子学的に考慮した WHO 分類に移行してきている。染色体・遺伝子の基礎的な事から各症例事の解説がされており、受講者にとって非常にわかりやすかったのではないかと思う。</p> <p>アンケート結果からも非常に好評であった。</p>			
参加者	総数：113 名 (会員 87 名、県外会員 26 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	特になし			

2021.8.13